

サポートに診断情報を提供するためのUmbrella Roamingクライアント診断ツールの設定

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[主なステップ](#)

[トレイアイコンによる診断の実行](#)

[ファイルブラウザ/ファインダを使用した診断の実行](#)

[コマンドライン/ターミナルでの診断の実行](#)

[リモートコンピュータの診断を実行するか、コマンドラインから無人で診断を実行するか](#)

[使用例](#)

[PsExecを使用した使用例](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaローミングクライアントの診断ツールを使用してサポートに診断情報を提供する方法について説明します。

概要

Umbrellaローミングクライアントには、診断ツールが組み込まれています。このツールは、複雑な問題のトラブルシューティングに不可欠な貴重な情報をサポートに提供します。

この記事では、グラフィックインターフェイス、コマンドライン、および無人プロセスとしてリモートマシンで実行する方法など、このツールにアクセスする複数の方法について説明します。

主なステップ

- 可能な場合は、Umbrellaローミングクライアントに関連するサポートチケットを開く際に、常にこの出力を提供します。
- テストが完了すると、.txtファイルが生成されます。チケットに.txtファイルを添付してください。
- 特定のドメインへのアクセスに問題がある場合は、「テストするドメイン」フィールドに追加してください。

注：診断のテキスト出力をサポートチケットにコピーしないでください。結果の書式が失われ、読み取ることができません。結果を再送信するように求められます。

トレイアイコンによる診断の実行

WindowsまたはMac OSXにインストールされているUmbrellaローミングクライアントを使用すると、トレイアイコンから診断ツールにアクセスして使用できます。

ユーザがUmbrellaローミングクライアントを認識しないように、Umbrellaローミングクライアントトレイアイコンを意図的に隠すことができます。この場合、この方法では診断ツールを呼び出すことができず、この記事の次のセクションで説明されている他の方法を使用する必要があります。

	Mac	Windows
ユーザインターフェイスによる 診断ツールへのアクセス		

ファイルブラウザ/ファインダを使用した診断の実行

ファイル一覧 (エクスプローラ) から	
1. C:\Program Files (x86)\OpenDNS\Umbrella Roaming Client\に移動します 2. UmbrellaDiagnosticをダブルクリックします * 注：オペレーティングシステムが32ビットの場合、フォルダ名は「Program Files」になります。	
Finderから	
1. Application > OpenDNS Roaming Clientの順に移動します。 2. Umbrella Diagnosticをダブルクリックします。	

コマンドライン/ターミナルによる診断の実行

コマンドプロンプトから	
1. コマンドプロンプトアプリケーションを開く 2. 次のように入力してEnterキーを押します。 「C:\Program Files (x86)\OpenDNS\Umbrella Roaming Client\ UmbrellaDiagnostic.exe」 * 注：オペレーティングシステムが32ビットの場合、プログラムファイルのパス名から(x86)を削除します。	
端末から	
1. ターミナルアプリケーションを開きます 2. 次の文字列を引用符で囲んで入力します。 "/Applications/OpenDNS Roaming Client/Umbrella Diagnostic.app/Contents/MacOS/OpenDNSDiagnostic"	

リモートコンピュータの診断を実行するか、コマンドラインから無人で診断を実行する：

診断ツールには、サイレント実行を可能にする機能が含まれています（ユーザの介入なし）。これは、ユーザのマシン上で診断ユーティリティを実行したいが、ユーザの作業を妨げたくない場合に特に役立ちます。

これらのスイッチは、コマンドプロンプトまたはターミナルからそれぞれWindowsまたはOSXバージョンの両方に追加できます。

スイッチなしで実行すると、Umbrella Diagnosticはユーザインターフェイスを起動し、ユーザが情報を送信するまで待機します。リモートで実行する場合、ほとんどの場合、—silentオプションが必要です。

診断のサイレント実行を自動化して出力を指示するために、次のスイッチをコマンドに追加できます。

-d, -ドメイン=値	テストの対象となる特定のドメイン(ProblematicDomain.comなど)
-s, -サイレント	サイレントモードでテストを自動的に実行する（UIまたは新しいウィンドウは表示されません。デフォルトは-i出力です）
-i, -インターネット	すべての結果をdiagnostic.opendns.comに出力します。出力先のURLは「appspot=URL」としてコンソールに出力されます。
-o, —output=値	ファイルへの出力は'outputFile=FILE'としてコンソールに出力されます。フルパスを指定することもできます。必要に応じて引用符を使用してください。
-c, -コンソール	すべての結果をテキストとしてコンソールに出力
—erc	インストールされていない場合でも、ローミングクライアントのテストを強制的に実行します。
—noerc	ローミングクライアントテストがインストールされている場合でもスキップする
-h, -?, -ヘルプ	この使用明細書を表示

-o引数または-c引数を指定せずに実行すると、-iがデフォルト出力になります。これは、画面にURLが表示されることを意味します。このURLをコピーして、サポートに送信してください。

ユーティリティを-oまたは-cで実行する場合、必要に応じて-iを追加の出力として明示的に設定する必要があります。これらのパラメータを使用して実行する場合は、-oまたは-cに加えて-iを指定することをお勧めします。

必要に応じて、複数の出力形式を指定できます。

使用例

- このコマンドは自動的に診断を実行し、ユーザーには何も表示されません。また、「ProblemsDomain.com」の特定のチェックが含まれます。次に、診断は結果を `opendns.appspot.com` に送信し、「`appspot=URL`」をコマンドプロンプト/コンソールに出力し、その結果を `appspot URL` とともにサポートに送信します。

`UmbrellaDiagnostic.exe —domain=ProblematicDomain.com —silent`

- このコマンドは、診断を自動的に実行し、ユーザには何も表示しません。診断ツールによって、診断ツールのローカルマシンの `C:\windows\temp\diag.txt` に出力ファイルが作成されます。

`UmbrellaDiagnostic.exe —silent – 出力=C:\windows\temp\diag.txt`

PsExecを使用した使用例

[MicrosoftのSysinternalsサイトにあるPsExec](#) は、一般的なWindowsドメイン環境で `UmbrellaDiagnostic.exe` をリモートで実行するために使用できるツールです。

ここで説明する使用法は、ドメイン環境で最適に機能します。ワークグループ環境では、リモートマシンとローカルマシンでユーザ名とパスワードが同一である必要があります。

ツールをリモートで実行するには、次の太字の変数を変数に置き換えます。この構文は、「`example.com`」に対してテストを行い、サポートに送信できるURLを末尾に投稿します。

`<#root>`

`psexec`

`\\REMOTEMACHINE-NAME`

`-u`

Administrator

`-p`

Password

`"C:\Program Files (x86)\OpenDNS\Umbrella Roaming Client\UmbrellaDiagnostic.exe" -d=example.com`

`-s -i`

コマンドの出力例は次のようになります。

PsExec v2.0 - Execute processes remotely

Copyright (C) 2001-2013 Mark Russinovich

Sysinternals - www.sysinternals.com

Running all tests... please wait...

`appspot=http://opendnsupdate.appspot.com/d/34172100`

Test complete!

`C:\Program Files (x86)\OpenDNS\Umbrella Roaming Client\UmbrellaDiagnostic.exe exited on remotemachine-n`

appspot=URLをコピーするだけで、診断情報のURLのコピーが作成され、サポートに提供されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。